

探検隊バージョン 10.1

端末入替に伴うデータ移行マニュアル

本書は、「探検隊バージョン 10.1」の端末入替に伴うデータ移行を行う事を目的としたものです。
作業を行う際は、必ずご一読いただくようお願い致します。

目次

- データ移行作業手順（新規環境へデータ移行） 1
 - STEP 1. 「探検隊バージョン 10.x」でバックアップの取得..... 1
 - STEP 2. 「探検隊バージョン 10.1 のデータベースとデータベース管理版」のインストール..... 2
 - STEP 3. 「探検隊バージョン 10.x」のデータをインポート 3
 - STEP 5. 「管理版」および「カウンター版」のインストール..... 5
 - STEP 6. 「管理版」および「カウンター版」の初期設定..... 5
 - STEP 7. 移行されたデータの確認と移行されないデータの再設定 6
- トラブルシューティング..... 8

データ移行作業手順（新規環境へデータ移行）

STEP 1. 「探検隊バージョン 10.x」でバックアップの取得

データ移行には「探検隊バージョン 10.x」のバックアップデータが必要です。また、データ移行ができた事を確認する為の目安となる情報や、データ移行ができない、いくつかの情報について、事前に内容を確認しておく必要があります。

1. データ移行の目安となる情報を取得する

バージョンアップ後の確認作業に使用するデータを控えます。すべての操作は、「探検隊バージョン 10.x 管理版」で行います。

A) 蔵書件数

「検索＞蔵書検索」を起動し、キーワードを入れずに「検索」ボタンをクリックして確認します。

B) 利用者件数

「検索＞利用者検索」を起動し、キーワードを入れずに「検索」ボタンをクリックして確認します。

C) 貸出中件数

「運用状況＞貸出・予約状況」を起動し、「貸出状況」タブで「表示」ボタンをクリックして確認します。

D) 予約中件数

「運用状況＞貸出・予約状況」を起動し、「予約状況」タブで「表示」ボタンをクリックして確認します。

E) 貸出詳細情報件数

「統計＞貸出詳細情報」を起動し、「入力取消」をクリックした後、「結果表示」ボタンをクリックして確認します。「表示可能件数を超過しているため、超過件数を切り捨てて表示します。」と表示された場合は、「集計日範囲指定」欄で集計する範囲を指定し件数を確認します。

2. 移行できない情報を控える

データ移行の行えない情報を控えておきます。（利用していない情報は控える必要はありません）

A) 蔵書台帳印刷

「印刷＞蔵書台帳印刷」を起動し、「探検隊蔵書台帳項目」および「ユーザー蔵書台帳項目」に設定されている内容を控えます。

B) 利用者台帳印刷カードタイプ

「印刷＞利用者台帳印刷」を起動し、「カードタイプ」タブで「カードタイプ」とその「帳票設定」「レイアウト設定」および「カード枠色設定」を控えます。

C) 蔵書番号ラベル

「印刷＞蔵書番号ラベル」を起動し、「学校名のフォント」「バーコード番号のフォント」「印刷するラベルタイプ」とその「帳票設定」および「バーコード設定」を控えます。

D) 基本カード

「印刷＞基本カード印刷」を起動し、「印刷するカードタイプ」とその「帳票設定」および「レイアウト設定」を控えます。

E) 蔵書背ラベル

「印刷＞蔵書背ラベル印刷」を起動し、「印刷するラベルタイプ」とその「帳票設定」「ラベル枠色設定」および「印刷するフォント設定」を控えます。

F) 督促状メッセージ

「運用状況＞督促状」を起動し、「印刷設定」の内容を控えます。

3. バックアップデータの取得

「探検隊バージョン 10.x」のバックアップを取得します。ここで取得したデータが「探検隊バージョン 10.1」に引き継がれます。

新規環境（新しいパソコン）へデータを移行するため、バックアップデータは外部媒体（USB メモリーなど）に取得するようにします。

1. 「探検隊バージョン 10.x データベース管理版」を起動します。
2. バックアップ設定を開きます。
3. バックアップ先フォルダ設定で取得先を確認します。この時、必要であれば「バックアップ先フォルダ設定参照（…）」ボタンをクリックし、「フォルダーの参照」から取得先を変更してください。
4. 「決定」ボタンをクリックします。
5. 「探検隊バージョン 10.x データベース管理版」を終了します。
6. 「探検隊バージョン 10.x 管理版」を起動します。そのまま終了し、終了時のバックアップを行います。
7. データ移行に利用できるようバックアップを保管します。

* バックアップデータは、この後の STEP 3 で利用します。その際、日付が必要となるのでメモを取ってください。

バックアップ日付： 年 月 日 時 分

4. バックアップが取得できたら、次の作業に移ります。

STEP 2. 「探検隊バージョン 10.1 のデータベースとデータベース管理版」のインストール

「探検隊バージョン 10.1」を利用する為には、探検隊バージョン 10.1 用の「データベース」とそれを管理する為の「データベース管理版」をインストールする必要があります。

インストール作業については、別紙「探検隊データベース インストールマニュアル」を参照してください。

イメージファイルの使い方については、「イメージ操作マニュアル」を参照してください。



情報

事前にインストール作業が完了している場合は、本 STEP は飛ばして作業を進めてください。

STEP 3. 「探検隊バージョン 10.x」のデータをインポート

STEP 1 で取得した「探検隊バージョン 10.x のバックアップデータ」を取り込みます。

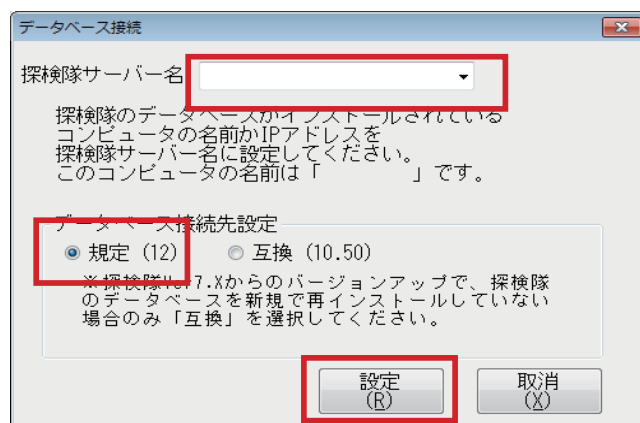
取り込み作業を行うと、その処理の過程でデータ移行が行われます。

作業を行うには、探検隊バージョン 10.1 用の「データベース」とそれを管理する為の「データベース管理版」がインストールされている必要があります。まだインストールが完了していない場合は、インストール作業を行ってから、本 STEP を実施してください。

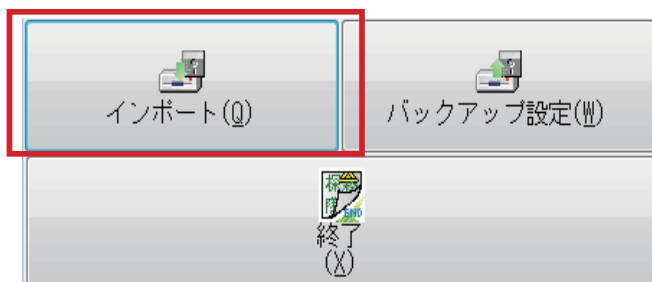
データ移行を実施する場合は、そのコンピュータの管理者権限が必要です。ログオンしているユーザーが、コンピュータの管理権限を持っていない場合は、あらかじめ管理者権限を持ったユーザーでログオンをしておいてください。

1. 「データベース管理版」を起動して、「データベース接続設定」を行います。既に設定を行っている場合は、2 へ進みます。

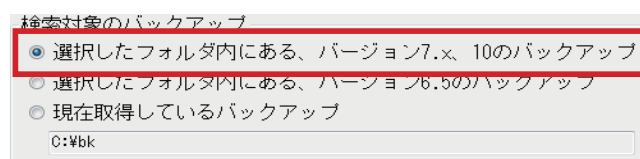
探検隊サーバー名に「探検隊データベース」があるコンピュータを選択もしくは入力して、データベース接続先設定の「規定 (12)」を指定し「設定」をクリックします。コンピュータの指定方法は、コンピュータ名または IP アドレスで行います。



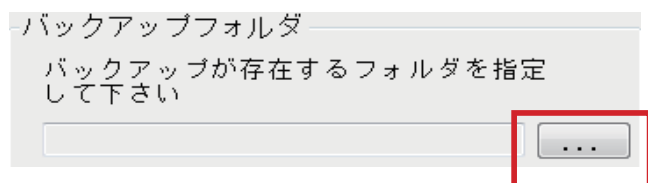
2. 「インポート」をクリックします。



3. 検索対象のバックアップを「選択したフォルダ内にある、バージョン 7.x、10 のバックアップ」に変更します。

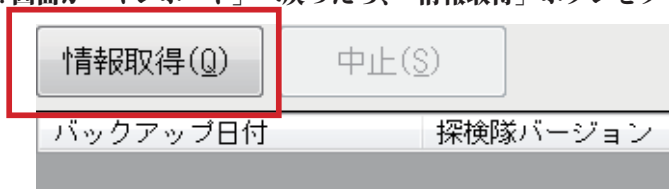


4. 同じ画面内のバックアップフォルダから「...」ボタンをクリックします。



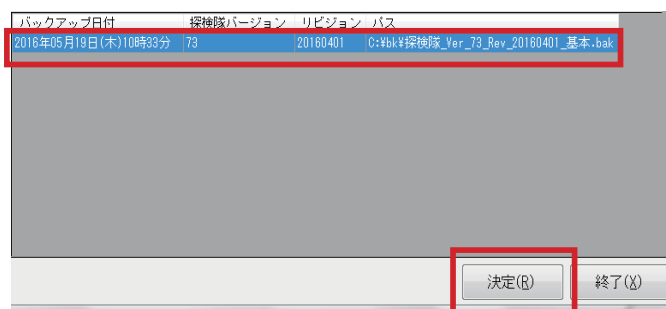
5. 「フォルダの参照」開くので「探検隊バージョン 10.x のバックアップ」がある場所を選択して「OK」をクリックします。

6. 画面が「インポート」へ戻ったら、「情報取得」ボタンをクリックします。

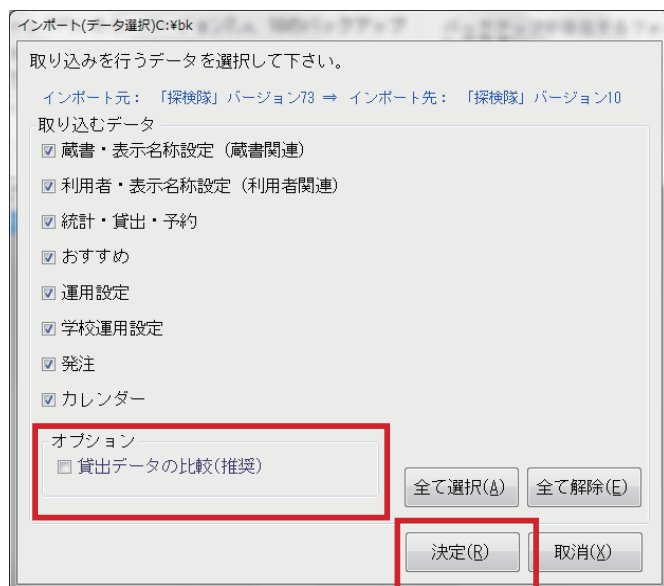


7. 取り込むデータの日付部分を選択（色が付きます）したら「決定」ボタンをクリックします。

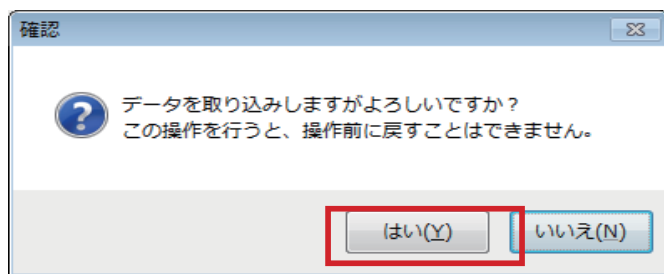
*STEP 1 で控えた情報を参考に、必ず「バックアップ日付」が取り込みたいデータであることを確認してください。



8. 「取り込みを行うデータを選択して下さい。」と表示されたら、取り込むデータすべてがチェックされていることを確認します。オプションの「貸出データの比較」のチェックを外して、「決定」ボタンをクリックします。



9. 確認画面で「はい」をクリックします。



10. 処理が終了するまで待ちます。(パソコンのスペックやデータ量によって時間が変わりますが、5～15分程度かかります)

11. 「処理が終了しました」と表示されたらデータのインポートは完了です。「OK」ボタンをクリックしてください。

12. 「データベース管理版」を終了して次の作業に移ります。

STEP 5. 「管理版」および「カウンター版」のインストール

データ移行が完了すれば、「探検隊バージョン 10.1」を利用できる状態になりますが、実際の運用には「管理版」と「カウンター版」が必要です。お使いの環境に応じて、「管理版」と「カウンター版」のインストールを行ってください。

インストール作業については、別紙「管理版 インストールマニュアル」または「カウンター版 インストールマニュアル」を参照してください。



情報

事前にインストール作業が完了している場合は、本 STEP は飛ばして作業を進めてください。

STEP 6. 「管理版」および「カウンター版」の初期設定

「管理版」および「カウンター版」の起動を行うと、初回起動時のみ初期設定画面が起動されます。

初回起動設定は、探検隊を運用するユーザーアカウント（Windows のアカウント）上で行う必要があります。バージョンアップ作業の過程で、異なるアカウントでログオンしている場合は、あらかじめ運用するアカウントでログオンをしておいてください。



情報

事前にインストール作業が完了している場合は、本 STEP は飛ばして作業を進めてください。

・「管理版」の初期設定

「管理版」を起動すると「ユーザー情報入力」画面が表示されます。画面の指示にしたがって情報を入力してください。

1. シリアル番号を入力して「次へ」をクリックします。

シリアル番号は、別紙をご覧ください。

2. 探検隊サーバー名を指定して「次へ」をクリックします。

探検隊サーバー名に「探検隊データベース」があるコンピュータを選択もしくは入力します。コンピュータの指定方法は、コンピュータ名または IP アドレスで行います。

3. 学校区分の設定を確認して「次へ」をクリックします。
設定は変更しないでください。
4. 学校情報の設定を確認して「次へ」をクリックします。
設定は変更しないでください。
5. 蔵書番号、利用者番号の桁設定を確認して「次へ」をクリックします。
設定は変更しないでください。
6. 「完了」をクリックして設定を終了します。

初期設定終了後、再度「管理版」を起動すると、通常通り探検隊をご利用いただけるようになります。

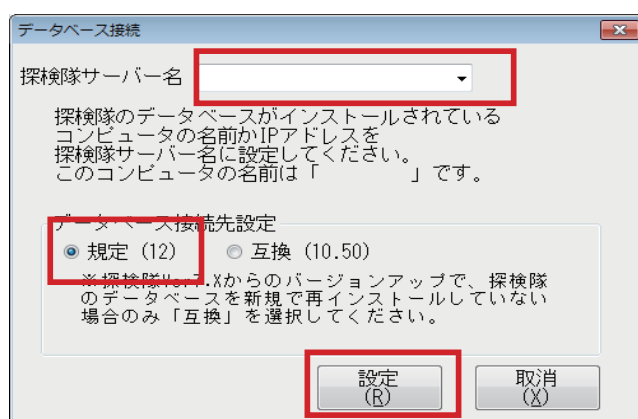
「担当者確認」が表示された場合、探検隊 7.x で使用していた利用者番号とパスワードを入力します。

* 詳細は、「Official Manual 管理版+データベース管理版＞『探検隊』のインストールが終了したら」をご参照ください。

・「カウンター版」の初期設定

「カウンター版」を起動すると「データベース接続」設定が起動されます。

探検隊サーバー名に「探検隊データベース」があるコンピュータを選択もしくは入力して、データベース接続先設定の「規定（12）」を指定し「設定」をクリックします。コンピュータの指定方法は、コンピュータ名または IP アドレスで行います。



接続が完了すると「カウンター版」が起動されます。

STEP 7. 移行されたデータの確認と移行されないデータの再設定

STEP 6 までの作業が完了すれば、移行作業は終了しています。

最後に、STEP 1 で確認したデータの比較を行ってください。

「蔵書件数」「利用者件数」「貸出中件数」「予約中件数」は、運用上重要なデータとなる為、問題ない事を確認してください。

移行をすることができない「利用者カード」「蔵書番号ラベル」「基本カード」「蔵書背ラベル」「蔵書台帳」の各種レイアウト、「督促状のメッセージ」については、事前に控えた内容を元に再度設定を行ってください。

詳しい内容は、本資料「データ移行作業時の注意」の項目をご確認ください。

トラブルシューティング

アンインストールができない

原因：Windows にログオンしているユーザーに、コンピュータの管理者権限がありません。

解決法：コンピュータの管理者権限をもったアカウントで、探検隊のアンインストールをしてください。

インストール時に、ユーザーアカウントとパスワードを求められてしまう

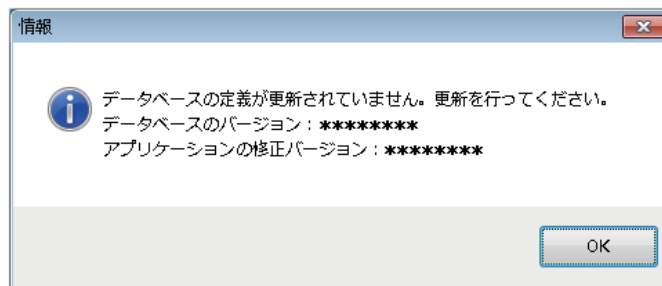
原因：Windows にログオンしているユーザーに、コンピュータの管理者権限がありません。

解決法：コンピュータの管理者権限をもったアカウントで、探検隊のインストールをしてください。

探検隊のアプリケーションを起動した際に「データベースの定義が更新されていません。更新を行ってください」というメッセージが表示される

原因：アプリケーションが新しくなっているのに、データベースが更新されていません。

解決法：本資料 STEP 4 を参考に、「探検隊のデータベースを更新」の作業を実施してください。



探検隊のアプリケーションを起動した際に「この○○は最新ではありません。最新のアプリケーションに再インストールしてください」というメッセージが表示される

原因：データベースが最新に更新されているのに、アプリケーションが古いままになっています。

解決法：本資料 STEP 5 を参考に、探検隊のアプリケーションの再インストールを実施してください。

